

平成 24 年度事業計画（案）

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

平成24年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 事業計画（案）

大阪の都市魅力を一層向上させるため、世界遺産暫定一覧表に記載が決定した「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現を目指し、府・堺市・羽曳野市・藤井寺市及び関係団体が一体となって、広域的な情報発信や機運の醸成を図るとともに、ユネスコへの推薦書の作成などの手続きを進めていく。

1 推進体制の整備

H24 予算額 4,454 千円

関係地方公共団体からなる推進本部会議において、世界文化遺産登録に向けた方針や事業執行について協議・決定するとともに、有識者会議や民間団体等を含む協議会を設置・運営する。また、世界文化遺産登録後のまちづくりを見越した地域活性化プラン(仮称)を作成する。

(1) 推進本部会議等の設置・運営

① 推進本部会議・幹事会・部会及び事務局の運営

推進本部会議の決算及び予算を審議・決定するため、推進本部会議及び幹事会を開催する。また、学術検討・条件整備部会と魅力創出・情報発信部会を開催するとともに、新たに登録推進体制を整備し、効率的かつ効果的な事務局運営を図る。

② 有識者会議の運営

考古学・古代史、景観等の専門家による有識者会議を開催し、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦書(案)作成に向けた資産の評価、緩衝地帯のあり方等について課題を検討する。

③ 民間協議会の設置・運営

民間団体を含む協議会を設置し、民間団体との連携のもと、世界文化遺産登録に向けた情報発信・魅力創出事業の展開を図る。

④ 世界遺産を活かした地域活性化プラン(仮称)の策定

世界文化遺産登録に向けてだけでなく、登録後における資産活用やまちづくりのあり方についても検討するため、地域活性化プラン(仮称)を策定する。

2 魅力創出・情報発信

H24 予算額 17,732 千円

世界文化遺産登録に向けた機運醸成を図るとともに、民間等とも連携した国内外への情報発信を展開していくための取組みを行う。

(1) 国際シンポジウムの開催 H24 予算額 2,500 千円

世界遺産の目的である、資産の次世代への保存・継承の意識を人々に持ってもらうとともに、百舌鳥・古市古墳群を保存・継承していくための府民の役割について認識し、世界文化遺産登録への機運を向上させるためのシンポジウムを開催する。

(2) 多言語リーフレット等基本情報の作成及び発信 H24 予算額 4,472 千円

国内外の人に百舌鳥・古市古墳群を訪れて価値を理解してもらえるよう、古墳を巡るためのガイドマップを多言語で作成するとともに、府内各箇所掲示してもらえるようなポスターを作成する。

(3) 国内外向け情報発信用の DVD の製作 H24 予算額 6,000 千円

古墳という資産の価値を理解するには、立体的に俯瞰できるツールが効果的であることから、コンピュータ・グラフィックスなどを用いた DVD を製作し、国内外に発信していく。

- (4) 推進本部会議ホームページの構築・運営 H24 予算額 3,000 千円
関係4者で統一したメッセージを発信していくため、推進本部会議としてのホームページを構築し運用する。
- (5) 各種イベント等による情報発信とPR ツールの作成 H24 予算額 760 千円
大規模集客イベント等を活用して、世界文化遺産登録にむけた機運を醸成するための PR を行うとともに、統一イメージによる PR ツールを作成し、一般府民から専門家まで、ターゲットに沿った広報戦略を展開する。
- (6) 世界遺産周知キャンペーンの企画・実施 H24 予算額 1,000 千円
民間団体と連携しながら、世界文化遺産への登録推進運動を盛り上げていくため、斬新な普及啓発事業を公募し、民間による具体的な事業展開を促進する。

3 学術検討・条件整備

H24 予算額 40,510 千円

世界文化遺産登録の実現は、国からユネスコに提出する推薦書(案)の作成が不可欠であることから、推薦書(案)を作成すると共に、作成に必要な調査・研究を行う。

- (1) 推薦書(案)の作成 H24 予算額 32,500 千円
26 年 2 月までにユネスコに推薦書を提出できるよう、24・25 年度の 2 カ年で推薦書(案)を作成する。25 年 6 月には原案を作成し国に提出する必要があるため、24 年度は資産の価値証明から構成資産を確定し、それに基づく保存管理計画の策定を行う。
- (2) 東アジア類似資産の現地調査の実施 H24 予算額 1,600 千円
東アジアの類似資産を現地で調査し、各種データから百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値を証明するとともに、主題のあり方、構成資産の選定方法、緩衝地帯のあり方などについて検討するための参考とする。
- (3) 国際専門家会議の開催(国際シンポジウムと同時開催予定) H24 予算額 5,000 千円
百舌鳥・古市古墳群の早期かつ確実な世界文化遺産登録をめざし、顕著な普遍的価値の証明や資産の保護・管理等について、国際的な視野から国内外の世界遺産・考古学等の専門家による意見交換を実施し、その内容を推薦書(案)及び資産の包括的保存管理計画の作成に活かす。
- (4) 日本イコモス国内委員との意見交換(イコモス現地調査同行を含む) H24 予算額 942 千円
イコモス国内委員と、顕著な普遍的価値の証明や緩衝地帯のあり方等について意見交換を行い、推薦書(案)作成に向けた課題整理を行う。
24 年度は、23 年度に政府がユネスコに推薦書を提出した「富士山」と「鎌倉」の 2 資産について、イコモス海外委員による調査が行われることから、その調査に同行し、調査内容を考察し、推薦書(案)の作成や資産の説明方法に反映させる。
- (5) 文化庁・関係省庁との協議調整 H24 予算額 468 千円